

2023.12.1
No.64

UNIRITA ユーザ会ホームページ
<https://www.uniritauser.jp/>



UNIRITA Users' Group

ユニリタ ユーザ会 ニュース

CONTENTS

- 02 第40回UNIRITAユーザシンポジウム
ヒルトン福岡シーホークにて開催決定！
- 03 研究グループメンバーインタビュー
- 04 40回記念企画！UNIRITAユーザシンポジウムのあゆみ
- 06 Close Up！各地区研究グループ紹介
- 10 2023年度 活動報告



写真提供：福岡市



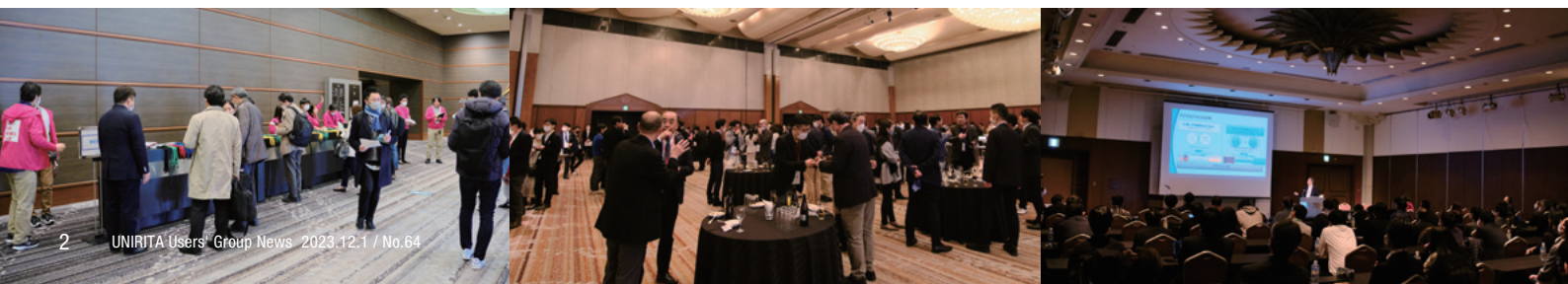
第40回

UNIRITA ユーザシンポジウム ヒルトン福岡シーホークにて開催決定！

昨年度、4年ぶりにリアル開催することができましたUNIRITA ユーザシンポジウムは、今年度もヒルトン福岡シーホークで、2024年3月7日（木）～9日（土）に開催いたします。ユーザシンポジウムはおかげさまで40回目を迎えることができました。会員企業様のご理解およびご協力に感謝申し上げます。40回という節目となりますので、皆様のお役に立ち、記憶に残る会となるよう準備を進めております。皆様のご参加をお待ちしております。



昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策ということでご参加者様を制限させていただいておりましたが、今年度は制限をなくして開催いたします。





研究グループメンバーインタビュー

第39回 UNIRITA ユーザシンポジウムにて、「最優秀活動賞」を受賞された
IE08「メタバースは日本に浸透するのか」研究グループのお二人にお話を伺いました。
リーダを務められた株式会社クエストの永尾謙伍さんと、発表者を務められた株式会社
匠 BusinessPlaceの大内愛理さんに、当時を思い出しながら振り返っていただきました。



永尾 謙伍 さん

株式会社クエスト



大内 愛理 さん

株式会社匠 BusinessPlace

第39回 UNIRITA ユーザシンポジウム
最優秀活動賞受賞 東日本情報活用研究部会
IE08「メタバースは日本に浸透するのか」

研究活動でリーダとして意識していたことを教えてください。

メンバ全員の意見を取り入れたいと思っていたので、締切に向けてどうやってまとめていくかを常に意識していました。メンバ数が多く色々な意見が出たのですが、それを集約するのがとても大変でしたね。メタバースを知らないメンバや普段の業務がITではないメンバもいたのですが、知らないからこその観点からのすどい意見がありました。

また、研究活動の最初の頃から、シンポジウムの発表の評価ポイントをメンバ全員が常に意識しながら活動していました。それが最終的に発表資料を作成するときに活かされたと思います。

研究活動の中で工夫したことを教えてください。

発表のアジェンダを早い段階で作成したので、そのアジェンダに当てはめて実験などのスケジュールを立てて進めたことですね。

また、実験チームと資料作成チームに分けて活動したのですが、効率よく進められたという点は良かったです。ただ、メンバはどちらか一方しかできなかったのが本当は全員でやりたかったとも思っています。



発表前の心境と発表をする際に意識していたことを教えてください。



すごく緊張していました。前日もグループで集まっていたのですが、解散したあとに練習しようと思うくらい緊張していて、プレゼンテーションの本を読んだりしてギリギリまで準備をしていました。聴講者の方から、自分がどう見られているか、どのような声の聞こえ方になっているか、ということに重視していました。具体的には、視線や身振り手振り、見やすい資料、話すスピードですね。視覚的にパッと目を引いた方が良くと考えて服装も意識しました。

また、発表順が最後だったこともあり、聴講者の方が疲れてくる時間帯だったので、発表の最初に会場の方やリモート聴講の方と一緒に軽いストレッチを行いました。発表が頭に入りやすくなる、印象に残りやすくなるということだけでなく、場の空気をつかむことを強く意識していましたね。

本番の発表に向けて、どのような準備をしましたか？

自分たちの発表内容を知らない方に発表を聞いてもらい、フィードバックしてもらう機会を作りました。初めて発表を見る方がどう感じるのかを知りたくて、自社のメンバに協力してもらいました。発表に対してはグループのメンバから色々な意見やアイデアをもらいましたが、発表前日のタイミングでもメンバから「こんな小話を入れたら良いのでは？」という提案があり、急遽取り入れました（笑）

1年間の研究活動についての感想をお聞かせください。

永尾



会社の壁を取り払った集まりは中々経験ができなかったと思います。今回リーダに立候補させていただきましたが、どのように進めたらよいか試行錯誤していく中で、色々な考え方を学ばせていただきました。自社でもリーダを経験しておりますが、それとはまた別の経験で成長できたと感じております。メンバの皆さんから毎回活発な意見が出ていたので、集まるのが楽しかったです。リーダに限らず、色々な立ち位置を希望できる貴重な機会だと思います。

大内



楽しかったですね。社外の方、異なる役職の方、年齢や年次の幅もある方々と議論して何かを作ることは普段ないので、貴重な経験になりました。他の会社のベテラン層の方と特に遠慮などはなく、対等に議論できるのは新鮮でした。



研究会への参加を検討している方へ

「どうしようかな？」と悩むくらいであれば思い切って参加すると良いと思います。普段絶対に関わる機会のない方と知り合える貴重な機会ですし、失敗しても特にデメリットがないので、是非チャレンジして欲しいと思います。



大内

実は社内で打診があったときは業務の方が忙しくそんなに乗り気ではありませんでした。いざ始めてみると意見が活発に出てきて、興味のある研究テーマだったこともあり、とても楽しく過ごすことができました。ちょっとでもやる気があるのであれば是非参加して欲しいなと思います。申し込んでよかったなと思いました。どの年齢層でも得るものはたくさんあります。



永尾



UNIRITA ユーザシンポジウムのあゆみ

最優秀活動賞受賞研究グループ一覧

開催回	年度	研究グループ名・テーマ名	発表タイトル
1	1983	合同分科会として始まりましたが、当時は表彰制度はまだありませんでした。	
2	1984		
3	1985		
4	1986	第5回からグランドホテル浜松で実施となりました。	
5	1987		第7回から最優秀活動賞を表彰することとなりました。 当時はデータベース研究会が多く活動されていました。
6	1988		
7	1989	ADABAS 5 研究 (B) グループ	うちも今日から ADABAS 5
8	1990	DB 設計研究グループ	効率の良いファイル設計
9	1991	NATURAL 2 標準化・効率化 研究グループ	NATURAL2 をベースとしたシステム開発基準書について
10	1992	標準化研究グループ	効率的な NATURAL コーディング基準
11	1993	PC 環境研究グループ	PC でホストも光るあなたの仕事～ホストユーザへのささやかな提言～
12	1994	UNIX ADABAS アドバンス 研究グループ	UNIX ADABAS が動く日 Part2 ～デスクから UNIX WORLD への旅立ち～
13	1995	PC 環境研究グループ	急げ！エンドユーザ・コンピューティング
14	1996	データウェアハウス研究グループ	いいなあ、データウェアハウス
15	1997	ADABAS 応用研究グループ	V6 (ブイシックス) ミニライブ～ Ver5 から Ver6 へ華麗なる飛躍！これを聞けばあなたも V6 の達人～
16	1998	アプリケーション研究グループ	『誰か教えて！失敗してからの Essbase』 ～事例に学ぶ、現実とのギャップに対する処方箋～
17	1999	NATURAL 基礎研究グループ	『職場で有効活用できる NATURAL』
18	2000	XML による E-ビジネス構築 研究 (A)(B) 合同グループ	『XML ってはやってんの？』～XML で在庫検索システムに挑戦～
19	2001	分散環境での統合運用管理 研究グループ	『クライアント管理の現状と課題-運用側からみたクライアント管理ツールの適用性』 ～負けるな管理者！クライアント管理の未来は明るい！！～
20	2002	データウェアハウス研究グループ	『混沌の株式市場を乗り切る秘策！』～仮説検証を利用した優良株発見術～
21	2003	Web サービス研究グループ	『Web サービスの光と影！』～なぜ、Web サービスが普及・発展しないのか！！～
22	2004	データウェアハウス活用 研究グループ	『もう迷わない！DWH ナビゲーション』～ズバリ言うわよ。作る人も使う人も幸せになる法則～



2007年度
最優秀活動賞
受賞

Ajax 活用研究グループ

『明日使える Ajax ～なんで今までできなかったんだろう。～』



日本精線株式会社
三輪さん

今回は UNIRITA ユーザ会の中でも、特に情熱的な歴代研究グループメンバーである日本精線株式会社の三輪さんにお話をお伺いしました。

研究会テーマについて

Ajax は今でいう AI のようなバズワードでしたが、当時は画面遷移しない非同期通信は革新的な技術で、Web システムのインターフェイスが変わりつつある時代でした。「せっかく会社から貴重な時間をもらって研究するんだから、何か、みんなが会社を持ち帰って実際に使えるものを作りたいかった」、そういった意味をこめて『明日使える Ajax ～なんで今までできなかったんだろう。～』というテーマ名にしました。

明日使えるという名前の通り、論文だけでなくソースをリファレンスしたり、コピーするだけで使える付録集の作成を行いました。付録集の中身は今となっては当然のものにはなるんですが、カレンダーの UI や郵便番号から住所の自動入力、文字カウント機能やその他さまざまな機能を詰め合わせました。

当時の役割

私の役割は発表者兼リーダーでした。私はかなりの感覚派なリーダーでゴール地点のビジョンを

打ち出して、メンバーが具体的なステップを提案するという形で、全員が取り組みに参画することができ、うまく機能していたと思います。私はシンポジウムで受賞した際に、ステージ上でのインタビュー中に感極まって涙を流してしまいました。それで「ちょっと熱くなり過ぎたかな」と気恥ずかしさを抱えてしまったのですが、後に九州の春の全体会で会長から「涙が出るほど打ち込めるのは凄いことだ」との言葉をいただいたりもして、そういったところからも自分の行動に自信を持てるようになりました。

1983年度から始まったUNIRITA ユーザシンポジウムは、今年度で第40回を迎えます。
第40回開催に先駆けて、過去 UNIRITA ユーザシンポジウムにて最優秀活動賞を受賞された
研究グループ一覧を基に40回のあゆみを振り返ります。

開催回	年度	研究グループ名・テーマ名	発表タイトル	
23	2005	現場主義のモバイル研究グループ	『携帯電話が守る!あなたの睡眠そして会社の利益』 ～さあ、ゆっくり寝よう～	この年のシークレットゲストは森口博子さんでした。アニメガンダムのテーマソングやモノマネを披露していただき、幅広い世代の方から大変好評でした。
24	2006	内部統制が実現するJSOX法 ～入門編～研究グループ	『J-SOX法施行に向けた内部統制整備のために ～ちょいフルおやじはIT全般統制にフォーカスした!!～』	
25	2007	Ajax 活用研究グループ	『明日使える Ajax ～なんで今までできなかったんだろう。～』	INTERVIEW
26	2008	IE01 企業変革へのIT活用 研究グループ	『顧客創造の決め手 One on Oneマーケティング ～対話型CRMで顧客の心をつかめ～』	2007年にHTML5仕様の初版が公開されて以降、ウェブ開発者にとってHTML5は現代のウェブ技術の基盤となりましたが、HTML5を研究テーマとして掲げているグループが多くありました。
27	2009	OE03 運用部門のグリーンITへの 取り組み研究グループ	『Let's Try Green of IT ～IT部門が地球を救う 目指せCO ₂ 25%削減～』	
28	2010	IN03 企業内情報活用 研究グループ	『WANTED! 会社の知識人』 ～埋もれていませんか? 大切なノウハウが・・・～	
29	2011	IE05 HTML5の可能性 研究グループ	HTML5でつくる★スマート3な世界～新しいWebのカタチへ～	
30	2012	IE04 HTML5基礎 研究グループ	「どこまでいくのよHTML5 ～進化し続けるWebアプリケーション～」	第34回からヒルトン福岡シーホークで実施となりました。
31	2013	OW04 ゲーミフィケーションによる 楽しい運用業務への変革 研究グループ	「運用KAIZENクエストIIIそして伝説へ・・・～仕事が変わる、ゲームが変わる～」	
32	2014	IW01 HTML5 & マルチデバイスの Web 開発 研究グループ	「始動、HTML5 ～ユーザー参加型プレゼンで、一緒にHTML5を体感しよう～」	UNIRITA ユーザシンポジウム開催直前に新型コロナウイルスの流行が始まり、急遽現地開催が中止となって動画評価での開催となりました。
33	2015	OW01 活きた運用ナレッジからの 改善実践! 研究グループ	「ナレッジ活性クエストV復活の『M』～呼び覚ませ! 眠れる知識～」	
34	2016	IE02 ビジネスに貢献する IT 研究グループ	「業務プロセス健康診断～IT部門をプロセスドクターに変える“PIBOK”～」	新型コロナウイルス流行の影響で2020年、2021年はオンライン配信での開催となりました。
35	2017	IW02 WEBマーケティングと ビジネス連携研究グループ	「オンライン営業部設立企画書(社外秘) ～空前絶後のWebマーケティング改革!～」	
36	2018	IW02 IoT時代における ビッグデータ分析	「あなたの資産が疲れている ～バイタルデータから見えるあなたのストレス～」	UNIRITA ユーザシンポジウム初の現地開催とオンライン配信のハイブリッド開催となりました。
動画 評価	2019	IE05 スマートスピーカーの ビジネス活用	「スマートスピーカーって実際どうなの? ～天気を教えてくれるだけじゃない～」	
37	2020	IE04 リモートワークの ベストプラクティス	「三密回避でも業務は密に! 会わなくても業務は進む?! ～最適なツールのご提案～」	
38	2021	GW03 リモートワークによる 生産性向上	「その会議、リモートワークでいいんじゃない? ～天の声がサポートします!～」	
39	2022	IE08 メタバースは 日本に浸透するのか	「新時代のコミュニケーション革命 ～ビジネスで使えるメタバースを探る～」	

一番思い出に残っていること

合宿ですね。当時は合宿が各チームごとに企画するルールでした。
私たちのチームは滋賀県グリーンパーク思い出の森のバンガローに行きました。
合宿の時期が10月で、まだチームとしては遠慮がある時期だったため、打ち解けるのが目的でした。これが結果として大成功で、自然あふれる中でリラックスができ、自由なアイデアが沸き上がってきていました。そんな中でふと、ユーザに無駄な動作をさせずに使い勝手があがるなら、それは Ajax と呼べるんじゃないか? という話が出て、メンバ全員が納得したことを今でも覚えています。

最優秀賞を受賞してよかったこと

UNIRITA ユーザ会に参加した当時はちょっ

と業務で自信を失っており、会社で貢献できているのか不安でした。
UNIRITA ユーザ会で同じ社会人で何の利害関係もない人と知り合えて、共通のグループワークを行う過程を経て、やりすぎなくらい研究に打ち込むことで、自分に自信を取り戻すことができました。私たちほど楽しんで研究に打ち込んだチームは他にないと思っています。
その努力が報われ、最優秀賞に選ばれることとなり、大変うれしかったです。

今研究会に参加されている人に伝えたいこと

社会には前提を踏まえただけのルールがあると思いますが、システム経験がない人など、初心者だからこそ見える視点もありますので、そういった意識を取っ払って、遠慮せずに積



極的にメンバと議論に参加してみよう。見かけのルールの外に目を向けて、そこにあるものをフル活用して物事を作り替える気持ちで UNIRITA ユーザ会を楽しんでほしいです。せっかくなのでコーディネータも有効活用してみてください。
私は元々は前例があると、勝手に枠を作ってしまう事があって発想を制限してしまいましたが、UNIRITA ユーザ会での活動を通じて視野が広がり、本来のルールの枠ギリギリを攻める事ができたので、ぜひ皆さんもいろいろ試してみてください。
こういう場で型の破り方を学んでみてはどうでしょうか(笑)

今年度の研究部会活動は、全国で28のグループが活発な活動を行っています。各グループより、グループの紹介とシンポジウムでの発表に対する抱負などを語っていただきました。3月の発表にご期待ください。

東日本地区

これからのIT

IE01



IE01には、代表と副代表以外にも経験豊富なメンバーが在籍しています。本年度はシンポジウムでの発表はありませんが、各研究グループの研究活動について支援を行います。

中村 清悟 [システムアクティベーション株式会社]
増田 徹也 [株式会社KYOSO]
田中 豊久 [株式会社匠BusinessPlace] ★
山形 友佳子 [株式会社匠BusinessPlace]
天井 誠一 [株式会社ソフトウェア・パートナー]
飯田 昌也 [株式会社ソフトウェア・パートナー]
野川 充彦 [パソニックソリューションテクノロジー株式会社]
上釜 隆志 [株式会社システムフロンティア]

柿木 秀基 [株式会社システムフロンティア]
小泉 岳人 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
橋本 隆史 [カシオ計算機株式会社] ○
金築 律夫 [日本機械工業株式会社]
小宮 一浩 [株式会社ビデオリサーチ]
野呂 泰仁 [東亜建設工業株式会社]
澤田 大輔
小山 智久

データ活用によるカスタマーサクセス

IE02



サブスク時代に重要な「カスタマーサクセス」を紐解きつつ、データ活用をプラスすることでどのくらい効果を最大化できるのか、検証していきます。乞うご期待！

江川 未来 [SBSリコーロジスティクス株式会社] ○
矢野 泰成 [リコージャパン株式会社]
藤澤 レイ奈 [株式会社山櫻]
岩上 弘汰 [出光興産株式会社] ★

中村 嵩 [TDIプロダクトソリューション株式会社]
埴 勇紀 [株式会社コーユビネス]
松本 隼陽
渡邊 剛

Web3.0をビジネスで活かすには

IE03



Web3という曖昧だけどこれからの可能性を秘めた領域に漢気溢れるグループが臨んだ研究結果をすべてのビジネスパーソンへお届けいたします。

中尾 祐生 [旭化成アミダス株式会社] ★
濱田 憲明 [リコージャパン株式会社]
召田 幸也 [エスアイエス・テクノサービス株式会社]
鈴木 康太 [出光興産株式会社]

太田 大貴 [株式会社匠BusinessPlace] ○
武知 士門 [リコーITソリューションズ株式会社]
渡邊 雄貴
張 至杰

HRTechで変わるIT人材調達と育成

IE04



若者の離職率をHRTechでどのように防止できるかをテーマに研究しています。若者の離職率は今も昔も変わっていません。その離職率をどのようにHRTechで解決できるかどうぞご期待ください。

浅野 菜穂美 [旭化成アミダス株式会社]
平野 直 [株式会社システムフロンティア]
山本 駿 [情報技術開発株式会社] ★

高野 正之 [株式会社アークシステム] ○
佐川 豊
指田 亮太郎

東日本地区

サーバーレスコンピューティングで企業はどう変わるか？

IE05



我々はサーバーレスコンピューティングを導入するための課題について研究しています。平均年齢が28歳前後という若手を中心のグループですが互いに切磋琢磨して頑張ります！

高橋 峻太 [エスアイエス・テクノサービス株式会社]
井本 高優 [出光興産株式会社] ○
鈴木 優真 [株式会社エムアンドシーシステム]
小野 雄太郎 [株式会社クエスト]

生田 千紗 [株式会社インフォテック/朝日] ★
日下 航一
大谷 直輝

わかりやすいゼロトラストセキュリティ

IE06



IE06は2年連続でゼロトラストセキュリティの研究をしています。今年度はわかりやすく説明するだけでなく、導入まで持って行けるような提案を展開していきます！

箕浦 一輝 [株式会社豊通シスコム]
倉本 紗那 [株式会社エムアンドシーシステム]
岡部 拓真 [株式会社エムアンドシーシステム]
白石 晶広 [ANAシステムズ株式会社] ○

松平 遥 [株式会社無限] ★
飯草 輝希
橋本 ライヤン

DX時代のビジネスアナリスト

IE07



私たちは、DX時代において「変革」を起こすためのビジネスアナリストの役割について研究しています。皆さんが身近に感じていただけるような発表ができるよう頑張ります！

桑原 美由紀 [SBSリコーロジスティクス株式会社] ★
丸尾 望 [株式会社エムアンドシーシステム]
原澤 光太 [コスモエコパワー株式会社] ○
山田 莉帆 [株式会社THS]

近藤 賢史 [株式会社リンクレア]
海蔵 航太
渡邊 友哉

データファブリックの必要性

IE08



データ利活用の新しいアプローチとして、データファブリックが注目されています。各ベンダーのアプローチと、具体的な活用方法の提示を目指しています。どうぞお楽しみに！

田中 裕二 [カシオ計算機株式会社] ○
伊藤 楓馬 [YKK AP株式会社] ★
南地 浩平 [株式会社システムフロンティア]

今井 諒 [コニカミノルタ株式会社]
石山 綾乃
鈴木 雄介

第40回ユーザシンポジウムでは、25の研究グループが1年間の研究成果を発表します。各研究発表の会場で、聴講者が「研究内容」と「プレゼンテーション」の2大項目について評価し、投票します。投票結果を基に今年度の「最優秀活動賞」「優秀活動賞」「審査員特別賞」など、各賞の受賞グループが決定します。

■ 情報活用研究部会
■ システム運用研究部会
■ 合同研究部会

★ リーダ
○ サブリーダー

東日本地区

量子コンピュータの可能性

IE09



石塚 直満 [リコーITソリューションズ株式会社]
篠原 耕太 [株式会社NSP] ○
金光 智成 [TIDプロダクトソリューション株式会社]
森岡 翔太郎 [アイシーエクスプレス株式会社] ★
清水 康平 [株式会社匠BusinessPlace]
戌亥 稔 [株式会社テッキーズボット]
後藤 崇
黒川 菜緒

量子コンピュータは、新たな未来を約束する技術です。その技術は私たちの世界を変えます。その秘密・未来に迫ります！

属人化を解消する技能伝承とリスクリテラシー

IE10



會田 芽以 [株式会社システムフロンティア]
米澤 涉 [株式会社NSP]
山田 和平 [東洋熱工業株式会社]
岩間 悠莉 [株式会社エムアンドシーシステム] ○
石澤 恵佑 [株式会社JSP]
平岡 岳 [株式会社リンクレア] ★
山下 澪平
山本 真義

IE10は属人化の課題にむき合い、技能継承の研究に情熱を注ぎます。AIを駆使し、効果的な手順書作成ツールの開発に取り組むことで未来への道を切り拓きます。

属人化を解消する技能伝承とリスクリテラシー

IE11



河西 奈美 [大樹生命アイテクノロジー株式会社]
池崎 有香子 [株式会社エムアンドシーシステム]
梅津 祐太郎 [CTCシステムマネジメント株式会社] ★
小山 直樹 [山崎製パン株式会社]
前田 栄輔 [日本機械工業株式会社]
中村 俊介 [MS&ADシステムズ株式会社] ○
佐久間 純司
瀬戸 望太

どの組織でも起こっているであろう属人化。根本原因を究明し、技能伝承の方法とリスクリテラシーの観点から、予防と解消方法の最適解を導くべく奮闘しております！ぜひご期待ください！

東日本地区

運用管理事例

OE01



管理職層の研究グループであるOE01では、これからのIT及び、IT部門の在り方について広い範囲で議論しています。今年度は「スマート(IT)農業」「IT部門以外のITスキル向上策」「IT部門の方向性」などのテーマで活発な議論を行っています。

中俣 幸二 [株式会社リコー]
坪井 祐司 [元LIXIL]
寺門 美紀 [MS&ADシステムズ株式会社]
田中 彰 [リコーITソリューションズ株式会社] ★
村岡 崇 [株式会社フジミック]
江戸 栄一 [リコーITソリューションズ株式会社]
土方 明夫 [SOMPOシステムズ株式会社]
穴太 隆 [TIS株式会社]
岩井 健男 [LINE Financial株式会社]
米林 喜一郎 [ITS匠]
小笠原 勝政 [株式会社オカムラ]
白石 兼康 [元日立ビルシステム]
深水 和歩 [コスモエコパワー株式会社]
仲澤 栄明 [コスモエネルギーホールディングス株式会社]
久保 茂樹 [株式会社インフォテック朝日]
白土 和彦 [ANAシステムズ株式会社]
坂巻 弘織 [出光興産株式会社]
江里口 修 [株式会社アークシステム]
佐藤 政文 [株式会社フジミック]
国吉 典仁 [カシオ計算機株式会社]
川口 賢一 [小岩井乳業株式会社]
小出 誠 [株式会社アークシステム]
伊香輪 宣隆
森脇 真吾

パブリッククラウドのシステム運用業務

OE02



パブリッククラウドのスマート運用を追求し、DXの波に取り残された方々への道筋を示します。クラウド利用の課題を調査・研究し、最適な運用方法を発表します。

成田 一斗 [株式会社ネットサービス・ソリューションズ] ○
西森 太亮 [興安計装株式会社]
大庭 篤人 [興安計装株式会社] ★
長谷川 弘行
加賀谷 優輝

SDGsデックを用いたIT部門の社会貢献

OE03



地方自治体のSDGsをテーマに研究しております。現地の方とコミュニケーションを取りながら、町をもっと元気に！をモットーに活動を進めております。リベンジするぞ!!!

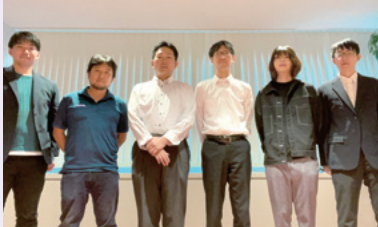
有浦 直宏 [SOMPOシステムズ株式会社] ○
西迫 隆 [NSW株式会社] ★
花園 翔太 [株式会社アイネット]
米澤 萌花 [TIS株式会社]
福重 裕菜 [リコージャパン株式会社]
沼田 竜弥 [第一生命情報システム株式会社]
野口 杏子 [第一生命情報システム株式会社]
西川 真弥
高林 守

CLOSE-UP!

東日本地区

障害未然防止のための予兆検知

OE04



吉崎 馨 [日販テクシード株式会社] ★
丸山 晃平 [CTCシステムマネジメント株式会社]
松本 豊 [興安計装株式会社]

中村 周平 [興安計装株式会社] ○
石川 創大
高田 瑞葵

「AIを用いた障害予測」を研究していますが、メンバーがAIにあまり触れてきておらず、スキル習得も含めて皆で努力しています。発表に向けてこのまま頑張ります。

システム運用業務のテレワーク実現

OE05

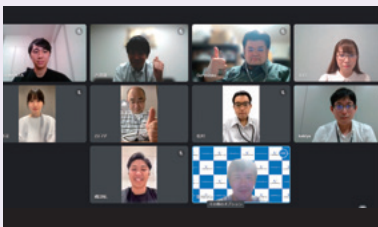


宮田 真之介 [旭化成アミダス株式会社] ○ 菊池 慧 [東洋熱工業株式会社]
坂本 知之 [株式会社KYOSO] 梅谷 守利
戸塚 心 [TOPPANホールディングス株式会社] ○ 鶴崎 若菜
丸岡 峻 [さくら情報システム株式会社] ★

システム運用担当のテレワークを実現するために、テレワーク導入の障壁とその解決策を模索し、システム運用業務におけるテレワークの実現可能性について提案します。

システム運用業務の引継ぎ

OE06



松村 洋 [AGSプロサービス株式会社] 松村 颯香 [リコーITソリューションズ株式会社]
高加 拓臣 [株式会社タカインフォテクノ] ○ 谷口 学 [CTCシステムマネジメント株式会社]
垣谷 貴人 [株式会社アイネット] ★ 降幡 春菜 [ソニー生命保険株式会社]
吉澤 翼 [山崎製パン株式会社] 瀧澤 隆弘
眞仁田 晃一 [出光興産株式会社] 磯部 航

私たちは、引継ぎの進め方や考え方、あるべき組織体制などに焦点を当てて研究しております。本研究がございましたら幸いでは幸いです。

システム運用業務のスペシャリスト像

OE07



松本 功輝 [SOMPOシステムズ株式会社] 安達 凡史 [株式会社フジミック] ○
仙石 匡 [SOMPOシステムズ株式会社] 小暮 正太郎
手塚 大輝 [AGSプロサービス株式会社] ★ 片山 翔太

運用業務の課題を「組織的な運用業務のスペシャリスト」として「個のスペシャリスト集団」ではなく「組織がスペシャリストになれる方法」について研究中です！

中部地区

今後求められるIT技術、ITエンジニアの姿を考察

IN01



桑原 奈津子 [日東工業株式会社] ○
田口 凌雅 [株式会社KYOSO] ★
山中 久昂 [株式会社メイテツコム]
北澤 祐介 [株式会社KYOSO]

宮崎 将吾 [リゾートトラスト株式会社]
小久保 友恵 [株式会社クエスト]
吉田 祐宜 [株式会社豊通シスコム]
松岡 親司

今話題の最新IT技術は我々の役割やあるべき姿をどう変えるのでしょうか？ 私達は、メタバースの活用による働き方の変化を研究し、多様化する働き方の可能性を提言します！

中部地区

貴方が考える「運用業務の将来、必要となるスキル」とは

ON01



佐々木 和真 [生活協同組合連合会 東海コープ事業連合]
久保 光一郎 [プラザー販売株式会社] ○
阿部 敬太 [株式会社トヨタシステムズ]
藤井 みさの [株式会社メイテツコム] ★

運用業務において生成AIの活用はスタンダードになりうるのか？ 現場の課題を解決に導くツールとしての生成AIの可能性を探ります。

永田 雄一 [株式会社リンクレア]
小山 駿
杉本 拓人

西日本地区

業務変革とIT活用

GW01



小玉 博樹 [小浦石油株式会社]
西 洋一 [株式会社KYOSO]
谷口 正直 [村田機械株式会社] ○
深沢 修 [旭化成アミダス株式会社]
網師本 里志 [株式会社 アド・ダイセン]
中西 信一 [株式会社ユニタプラス]
前田 史朗 [株式会社西出自動車工作所]
小野 俊治 [株式会社ユニタプラス]
田辺 武士 [株式会社アド・ダイセン]
神澤 沙友理 [ニッセイ情報テクノロジ株式会社]
滝川 奈緒美 [株式会社ノエビア]
水門 陽介 [株式会社ノエビア]

瀬戸川 聡 [東洋アルミニウム株式会社] ★
坂元 弘樹 [株式会社シーエーシー]
中西 要 [エース株式会社]
江角 博規 [ユニチカ株式会社]
赤瀬 欣也 [ユニチカ株式会社]
高取 知弘 [株式会社コーユービジネス]
熊取 美佐都 [小浦石油株式会社]
近藤 寿和 [ユニチカ株式会社]
井上 祐二郎 [株式会社リンクレア]
三木 朝広
山本 真也

本研究グループでは、各社が抱えるタイムリーな課題、例えばITセキュリティ対策、DXへの取り組みなどに対して、メンバーの経験を交えて情報交換をメインに活動しています。

西日本地区

職場の心理的安全性を高めるコミュニケーション技術 GW02



リモートワークなど働き方の多様化が求められる現代。心理的安全性を高めることで、チームメンバー全員がいざいぎと働けるチームづくりを目指して研究します！

五十嵐 秀樹 [村田機械株式会社]
森下 咲 [ダイハツ工業株式会社]
碓永 稔典 [株式会社オプテージ]
井澤 博美 [小浦石油株式会社]
松尾 晃空 [TDIシステムサービス株式会社] ○

室田 将吾 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
小林 悠登里 [株式会社ダイフク] ★
橋本 学
山田 秀樹

職場の心理的安全性を高めるコミュニケーション技術 GW03



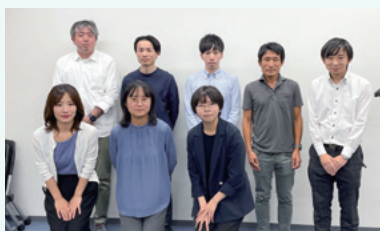
皆さんは職場で言いたいことを言えていますか？心理的安全性と多様性について研究中です。皆さんの職場の心理的安全性を高められるような研究成果を目指します。

松岡 優太 [株式会社KYOSO] ○
湯徳 弘晃 [コベルコシステム株式会社]
川西 慧 [日本精線株式会社]
米田 美和子 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
関谷 佑美 [ユニチカ株式会社]

坂本 和正 [株式会社K-BIT]
武田 朋也 [旭化成株式会社] ★
黒田 浩子
正村 僚介

AIを活用した自動化の実現

GW04



未来の家庭を、AIの魔法で、ゆとりと笑顔溢れる場所へ。あなたの夢をかなえる、AIパートナーとして、家族の幸せをサポートします。

吉田 カ也 [エース株式会社] ★
黄 善玉 [ユニチカ株式会社]
水島 彰宏 [コニカミノルタ株式会社]
田中 亜弥 [第一工業製薬株式会社]
和田 祐樹 [株式会社コーユービジネス]

米満 晴香 [株式会社リンクレア] ○
上本 直人
高橋 志音

メタバースと社内活用

GW05



メタバースは新時代のコミュニケーションツール！これまでの社内ツールよりもリアルな、仮想空間での社員交流が会社にもたらす価値とは？をテーマに研究しています。

七里 武史 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
坪井 祐資 [株式会社オプテージ]
船越 敬史 [京セラ株式会社] ○
濱崎 生海 [情報技術開発株式会社]
富永 雪乃 [TDIシステムサービス株式会社]

大畑 秀明 [大和リース株式会社]
鈴木 太智 [株式会社CACオルビス] ★
木村 伊吹 [株式会社リンクレア]
梅村 材
合田 遥南

西日本地区

DX組織を前提とした技術者のアップデートを考える GW06



GW06では、DX組織に所属している技術者のアップデートを研究しています。今後10年で進めていくDX組織のあるべき姿を考え、トップのDX組織の作り方を報告します。

石原 斉治 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
海野 祐介 [村田機械株式会社]
青木 隆 [株式会社ノエビア] ○
原田 裕典 [コニカミノルタ株式会社] ★

前田 純 [大和リース株式会社]
山本 広志 [株式会社ダイフク]
二見 徳人
有城 貢樹

マルチクラウドにおけるITIL4

GW07



DX時代では、様々なクラウドサービスを利用することが不可欠です。本研究グループでは、DX時代のマルチクラウドにおけるITIL4を活用したIT運用と効果を研究します。

菊川 拓真 [日本精線株式会社]
高野 浩一 [リコージャパン株式会社]
石山 統一 [第一工業製薬株式会社] ★
溝口 大介 [エスアイエス・テクノサービス株式会社] ○

川原 福正 [ユニチカ株式会社]
北方 一騎
新屋 二

九州地区

メタバース活用で変わる業務

IKOK01



『経験』×『コミュニケーション』メタバースの可能性を最大限に活かし、魅力的で革新的な「メタ映え」間違いなしの会社紹介をお届けします！

井上 大輔 [株式会社インフォセンス]
中村 遼人 [株式会社インフォセンス] ★
田中 良明 [西鉄情報システム株式会社]
平島 歌鈴 [西鉄情報システム株式会社]

松岡 征矢 [西鉄情報システム株式会社]
阿部 尚輝 [株式会社リンクレア] ○
馬込 秀紀
石崎 毅

2023年度 活動報告

2023年4月～2024年3月

今年度も多くの方にご参加いただきました。
今年度の残り、来年度も多数の企画をご提案してまいりますので、
皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

5月 May

春の全体会〈研究グループキックオフ〉

5/23
中部地区

5/24
西日本地区

5/25
九州地区

5/26
東日本地区

研究グループのキックオフとなる春の全体会を4年ぶりにオンラインで開催しました。各地区で昨年度の研究グループの研究発表やグループ討議を行いました。初回から対面での顔合わせができ、懇親会でもメンバ間の距離を縮めることができました。



究の方向性や考え方に対し、的確なアドバイスをいただくことができました。集合型形式の実施により、他の研究グループ内の関係作りをはじめ、他研究グループの研究活動状況を把握でき、今後の研究テーマ決めや研究の方向性を再確認する機会となりました。

■第6回ITゼミナール (7/27) 24社 32名ご参加

『シンNFT戦略 ～未来のイフラとなるNFTの可能性～』

株式会社農情人

代表取締役社長 甲斐 雄一郎様

2023年度は「Web3.0」をテーマとし、第6回は「NFT」についてオンライン配信&モデレータによるディスカッションという形で実施しました。

“NFTが脚光を浴びる3つの理由”から“NFTがもたらす未来”等をわかりやすく説明していただき、NFTについての理解が深まりました。



7月 July

合宿

7/7～8
西日本・九州合同

7/14～15
東日本情報活用

7/14～15
東日本システム運用

8/4～5
中部合同

4年ぶりに対面の合宿形式で開催いたしました。

・西日本・九州合同

グループ討議、グループ間情報交換、発表、フィードバックを行いました。グループによって話し合いが難航するグループや円滑に進んでいるグループなど様々でしたが、発表の頃にはどのチームも一丸となっておりホッとしました。



・東日本情報活用

集中して討議ができる機会であったとともに、メンバ間の親睦を深めたり、他グループの進捗を確認したり、他グループとも親睦を深めたり、IEO1の方々にアドバイスをいただいたりできる貴重な場となりました。

また、特に若手にとっては集団で合宿に臨む経験が少なく、大変新鮮な機会であり、楽しかったというご意見もいただきました。

・東日本システム運用

今回の合宿から新たな取り組みとして、代表、副代表と研究グループリーダー、担当コーディネータとの関係作りを含めた面談時間を設け、悩んでいた研



8月 August

合宿

・中部合同

この時期に対面で集中的に討議できることは、オンライン時の集中討議に比べて関係性構築も含めて、大変有意義な活動だったと感じました。

また、今年は懇親会などグループを超えて中部地区全体で行い、広く情報交換ができたことは、お互いよい刺激になったと思います。メンバの方には満足度の高い合宿であったとの声もいただきました。

第155回マネジメント研究会 (8/25～26 大阪)

21社 36名ご参加

『Daigasグループ様のDX人材育成のお取り組みについて』

株式会社オーグス総研

執行役員 OGシステム開発本部 DX統括部長 滝本 真吾様

マネジメント研究会の良さの復活ということで、リアルのみで開催いたしました。

「DX実践道場」を開設されるまでの道のりや現在の状況および今後の展望についてお話しいただき、DXを進める上での組織の巻き込み方や進め方等大変参考になりました。ご講演後はディスカッションを実施し、各業界・各社様の抱える



問題や考え方等を知る機会となりました。ご講演後は、「ハグミュージアム」を見学させていただきました。

9月 September

グループリーダ会議

9/12
東日本システム運用

9/13
東日本情報活用

9/14
西日本・九州合同

10/6
中部合同

代表、副代表、各グループのリーダとコーディネータが集まり、オンサイトで開催しました。

・東日本システム運用

リーダだけではなく、研究メンバ全員が集まって実施しました。新たな取り組みとして、ファシリテーション研修（講師：BI-Style 坂本様）を実施し、合宿の際に顕在化していた課題（いかに研究活動の団結力を高め、活性化するか）に対し、ワークショップを通じて確認しました。また、研究グループ活動の進捗や課題を共有し、取り組み途中での課題や研究内容に関するアドバイスをいただきました。各研究グループが集まり、進捗を確認することで進捗差や共通課題の共有ができ、研究グループ同士が相互でアドバイスし合う場面もありました。研究グループ毎に課題が明確になり、皆で最後まで取り組む士気が高まりました。

・東日本情報活用

代表から「研究活動の目的」について講義をしていただいたあと、研究発表と研究活動の2つのテーマで、リーダ・コーディネータの役割ごとにグループをまたいだディスカッションを行いました。

リーダとコーディネータのそれぞれの立場で自分の役割を再認識して、残りの期間の研究活動の進め方について考える機会になりました。

・西日本

各グループリーダから研究状況と課題、今後の方向性について、報告して頂きました。

幹事より「話は面白く、全体的に良い流れになっている」「格好良く発表するのではなく、ためになる提案をできるようにしましょう」とアドバイスをいただきました。

・九州

各グループリーダから研究状況と課題、今後の方向性について、報告していただきました。

代表や副代表からの反応は良く、今後の研究をさらに進めるためのご指摘をいただき、今後の取り組みが明確になったと思います。

10月 October

グループリーダ会議

・中部合同

中部は、他のグループの様子を知るためにも、例年全メンバで

参加しており、今年も同様にメンバの方にも対面で参加いただきました。

他グループの様子や、研究の状況を共有できたことで、よい刺激になり、今後の取り組み方を明確にすることができました。

特に今年は他グループからの質問や意見が多く飛び交い、対面での合宿でグループ間の関係性構築ができていたことが大きかったのではないかと感じました。

第156回マネジメント研究会（10/20～21 北海道） 10社17名ご参加

『「出光製造DX」のお取り組みについて』

出光興産株式会社

デジタル・ICT推進部業務変革四課長 吉田 朋久様

出光興産北海道製油所様(苫小牧)へお伺いし、「出光製造DX」のお取り組みについてご講演いただきました。

製造の現場でDXを進めるにあたっての工夫や苦労についてのお話はとても参考になりました。

ご講演後は、製油所でご説明、展示ブースおよび製油所を見学させていただきました。



11月 November

第7回ITゼミナール（11/10）3社20名ご参加

『NFT活用によるコミュニティ活性化を具体的に考える～第40回UNIRITAユーザシンポジウム企画を考えてみよう～』

株式会社農情人

代表取締役社長 甲斐 雄一郎様

4チームでNFTを活用したワークショップを実施しました。シンポジウムの課題解決案を考える中で闊達な意見交換ができ、プロの助言もあり、Web3技術の一つであるNFTについて具体的な活用イメージが理解できました。今後、企画案を活用できるか検討します。



▶ 12月以降の予定

12月 December

冬の全体会

12/8
東日本地区

12/12
中部地区

12/13
九州地区

12/15
西日本地区

2月 February

Web総会投票

3月 March

第40回UNIRITAユーザシンポジウム（3/7～3/9）

第51回定時総会報告

※社名・所属・役職などは開催当時のものです。

The 40th UNIRITA Users' Symposium

第40回 UNIRITAユーザシンポジウム 開催のお知らせ

UNIRITA ユーザシンポジウムを下記の通り開催いたします。



開催期間：2024年3月7日(木)～3月9日(土)

会 場：ヒルトン福岡シーホーク

〒810-8650

福岡県福岡市中央区地行浜2-2-3

参 加 費：ユーザ会会員 58,000円/名

ユーザ会非会員 88,000円/名

※シングルルームご希望の場合は、上記金額に12,000円/2泊が加算されます。

※参加費には、宿泊費、第1日目の夕食～第3日目までの朝食、および各セッションへの参加が含まれております。

※現地までの交通費は含まれておりません。

お早めにお申し込みください!!

お申し込み・詳細は
ユーザ会ホームページをご覧ください。
▶ <https://www.uniritauser.jp/>

QRからも
アクセスできます



【 お問い合わせ 】

UNIRITA ユーザ会事務局

E-Mail：usergrp@unirita.co.jp

TEL：03-5463-6412

(受付時間：平日9:30～17:00)

【 非会員の皆様へ 】

UNIRITA ユーザ会入会のご案内

ユニリタグループが提供するソフトウェア・プロダクトおよびサービスを利用している企業・団体様は随時入会できます。年会費は30,000円/社です。(事業年度1月～12月)

ユーザ会が提供する活動での会費は基本的にはかかりません。

入会の手続きに関しましては、ユーザ会ホームページをご確認いただくか、ユーザ会事務局までお問い合わせください。

編集後記

事務局より

昨年度に引き続いて今年度も福岡にて UNIRITA ユーザシンポジウムを開催いたします。

昨年度は感染症対策もあり、規模を縮小しての開催となりましたが、今回はコロナ禍前と同じ規模・内容での開催を予定しております。さらに今回は第40回の記念の開催となります。いろいろと企画を検討しておりますので、楽しみにお待ちください。また、研究活動においては、シンポジウムでの発表に向けてラストスパートを迎えているかと思います。体調には気を付けていただき、研究メンバ全員が参加して集大成を発表できることを願っております。

皆さまと福岡でお会いできること、事務局一同楽しみにしております。



UNIRITA Users' Group

UNIRITA ユーザ会ニュース No.64 発行日:2023年12月1日

編集発行: UNIRITA ユーザ会事務局 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟29階 株式会社ユニリタ内
E-Mail: usergrp@unirita.co.jp TEL: 03-5463-6412 URL: <https://www.uniritauser.jp/>